

# 教育センターだより

# 1月

元日は、国民の祝日の一つで年のはじめを祝う日



416号 令和7年1月7日発行  
砺波市教育センター HPはこちら  
〒939-1398 砺波市栄町7番3号  
TEL 33-1559 FAX 33-1157  
E-mail tonami-ec@tym.ed.jp



## 新年、あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、もうすぐ3学期がスタートします。きっと子供たちは、新たな気持ちで登校してくることでしょう。3学期も、すべての子供たち、教職員が笑顔で過ごせるよう「居場所があり、温かみを感じる（※となみ授業スタンダードより）」環境づくりに努めたいものです。

本年も教職員の皆様、子供たちが幸多き一年となることをお祈り申し上げます。



## フリースクール等情報交換会

日時：令和6年12月11日（水）16:00～17:00 砺波市役所にて  
参加者：（順不同）フリースクールとなみ（SEOカレッジ）・オンライン・虹の会・Ponte とやま（みやの森カフェ）・トーキョーコーヒー・教育支援センター「ひよどり」・砺波市小中学校長・砺波市教育委員会・砺波市教育センター

学校側としては多くの方に関わってもらい、エネルギーをもらって、学校に戻ってくる子供が実際にいて嬉しい。



砺波市では、フリースクールへの理解が広まり、通所開始までのスピードがはやい。また、居場所の選択肢が多いのもよい。

フリースクールは子供たちの居場所にとどまらず、保護者の気持ちをほぐす場所になっている。

フリースクールに行ったり、学校の相談室を利用したりうまく使い分けている子供もみられる。

人との関わり方が苦手な子供は、少人数の関係の中で人間関係のこつを掴むこともできる。

課題は、フリースクールは、都合の悪い人しか行けない所だねと言われること。

フリースクールについて地域の方々に知らせていくことも学校の役割だと思う。

不登校について、親だけが悩むのではなく、いろいろな人に知ってもらい、関わってほしい。

学校から離れる子供の中には、学びにくさのある子供もいる。そういう子供たちの学習の保障も必要である。

## ミドルリーダー育成研修会

期日：令和6年12月25日（水）

場所：出町小学校



年度当初に自分が決めたミドルリーダーとしての取組内容について振り返りを行いました。その後各自の取組が、チーム学校を支えるためにどんな効果があったのか協議をしました。

【研修後の振り返りより】

- ・「自分事」として子供や先生方の実態を捉え、「相手軸」に立って理解していこうとする意識を高められた。
- ・実践から次につながる課題を見付け、焦点化した話合いの場をつくるのが、教員間の絆を生むと感じた。



## 特別支援教育研修会

期日：令和6年12月26日（木）

場所：砺波北部小学校



早期支援コーディネーターの菓子井先生より「認知特性と行動の前後から支援を考える」と題してお話を聞いた後、「就学支援シート」の活用方法について協議しました。学びに困難さがある子供にどのような支援を行っていけば、誰もが主体的に授業に参加できるのか考える場となりました。

## となみ夢の平スキー場安全祈願祭

12月21日（土）

安全祈願祭には、夏野市長、白江教育長をはじめ、地域や関係者の方々がたくさん参加されていました。子供たちが笑顔でスキーをしている様子を思い浮かべ、安全に楽しめるようにとお祈りをしてきました。



砺波市の小中学校のスキー教室は、

1月17日～2月10日までの間に予定しています

